

NY Y 4 5 5 0 2

・器具の取り付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

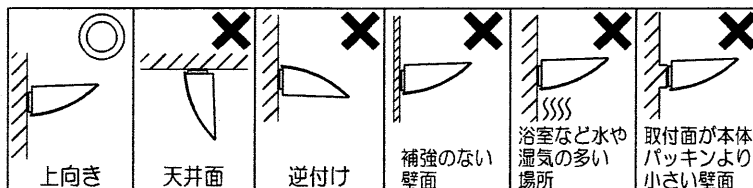
工事店様へ、この説明書は保守のためお客様へ必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

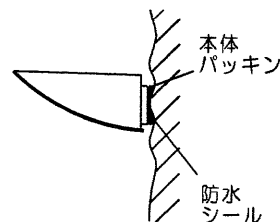
- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。

- 壁面取付専用器具です。照射方向上向きに取り付けてください。
器具表示及び取扱説明書にしたがい正しい方向に取り付けてください。
指定方向以外に取り付けると火災・感電・落下の原因となります。



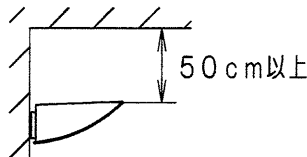
- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換をしないでください。
火災・感電・落下の原因となります。

- 取付面の凹凸がある場合は、隙間を埋めてください。
本体パッキンと取付面との隙間を防水シールなどで埋めてください。
防水が不完全な場合、火災・感電の原因となります。



- 表示された電源電圧（定格電圧 $\pm 6\%$ ）・周波数以外の電源で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

- 器具と被照射面は50cm以上はなしてください。
被照射物の火災・変色の原因となります。



注意

- 湿気の多い場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
火災・感電・落下の原因となります。

- 周囲温度は5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

- 接地工事は電気設備技術基準にしたがって確実に行ってください。
接地が不完全な場合、感電の原因となります。

- 光の影響を受けやすい物には長時間照射しないでください。変退色の原因となります。

- ランプ始動時には、ラジオやテレビに雑音が入る場合があります。

- 漏電ブレーカの感度電流を設定する際には、以下のことにご注意ください。
漏電ブレーカの誤動作の原因となります。

1) ランプ点灯時よりも無負荷時の方が漏洩電流が大きい場合があります。

2) 単相3線200Vで片切スイッチを使用する場合は、ランプ点灯時よりも消灯時の方が漏洩電流が大きい場合があります。

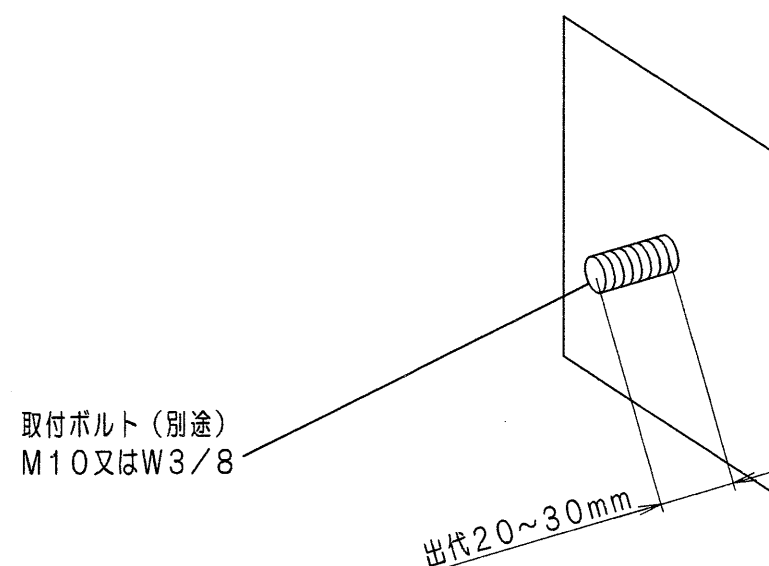
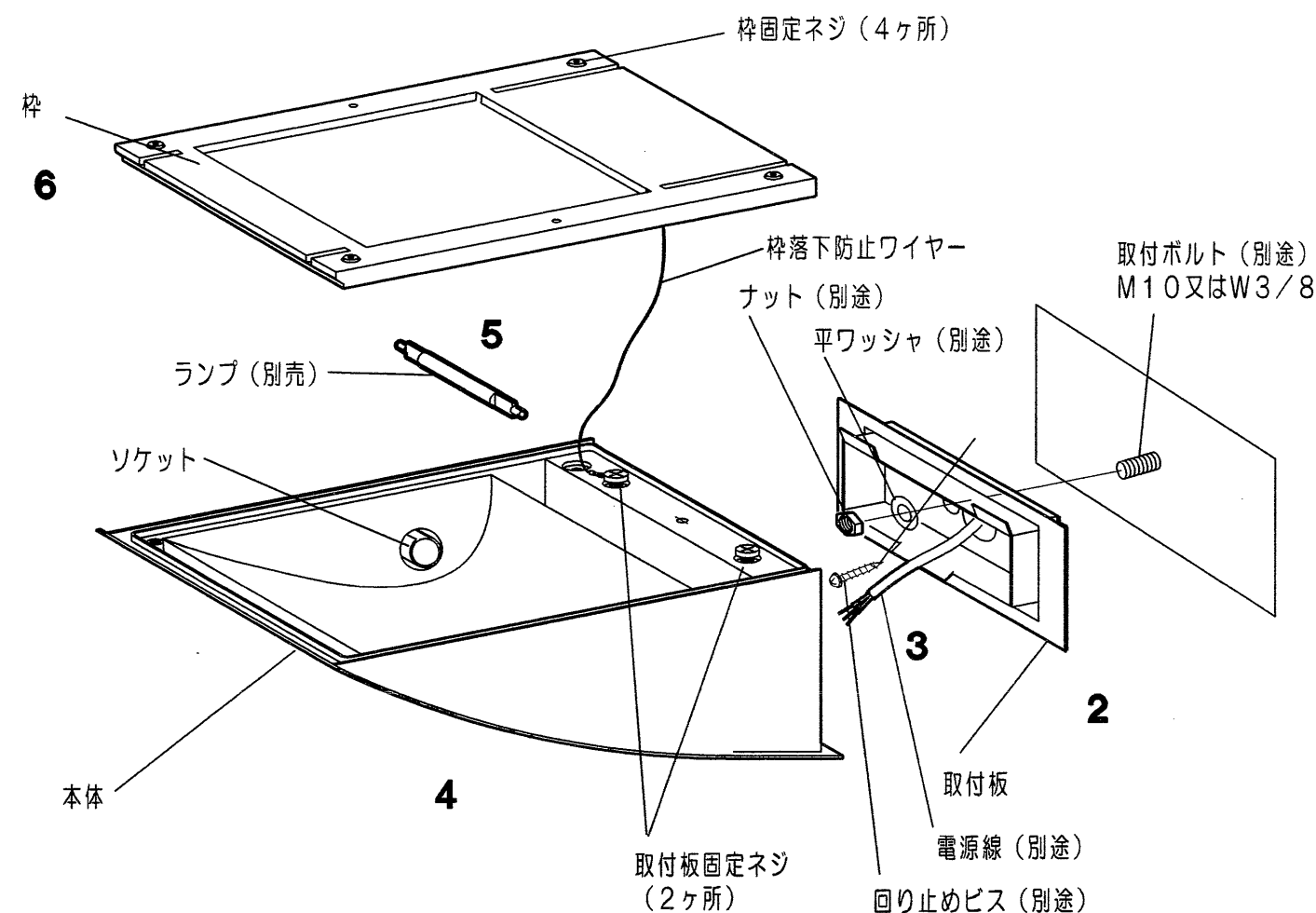
注) 無負荷時の漏洩電流の測定は、点灯時の漏洩電流測定後に下記の方法で行ってください。

消灯後、（ランプ装着状態で）約5秒後にスイッチを入れ、点灯（放電）開始までの間に測定する。

（周囲環境により異なりますが、点灯（放電）開始までに5～30分かかります。）

各部のなまえと取り付け方 ⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

適合フード NYY95501



アンカーボルトの出代

1 取り付け前の確認

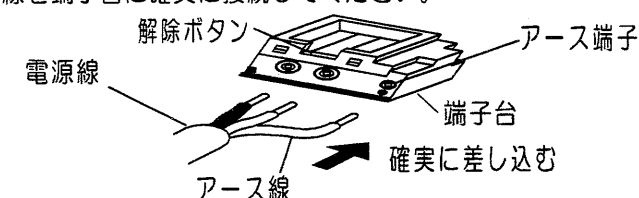
- 器具質量 (5 kg) に十分耐えるように、取付部の強度を確保してください。
不備がありますと落下の原因となります。

2 取付板を取り付ける

- 六角レンチ (別途) を使用して枠固定ネジ (4ヶ所) をゆるめ、枠を取り外してください。
- 取付板固定ネジ (2ヶ所) を緩めて取付板を取り外してください。
- 電源線を取付板の電源穴より引き込んでください。
- 取付方向指定ラベルに従い、M10またはW3/8の取付ボルト (別途)、ナット (別途)、平ワッシャ (別途) で取付板を傾きにならないようまっすぐに壁面内の補強材のある位置に工具で確実に取り付けてください。
- 回り止め用ビス (別途) で取付板を固定してください。
- ベニヤ板など薄い壁材へは取り付けないでください。
不備がありますと落下の原因となります。

3 電源線及びアース線を接続する

- 電源線を端子台に確実に接続してください。

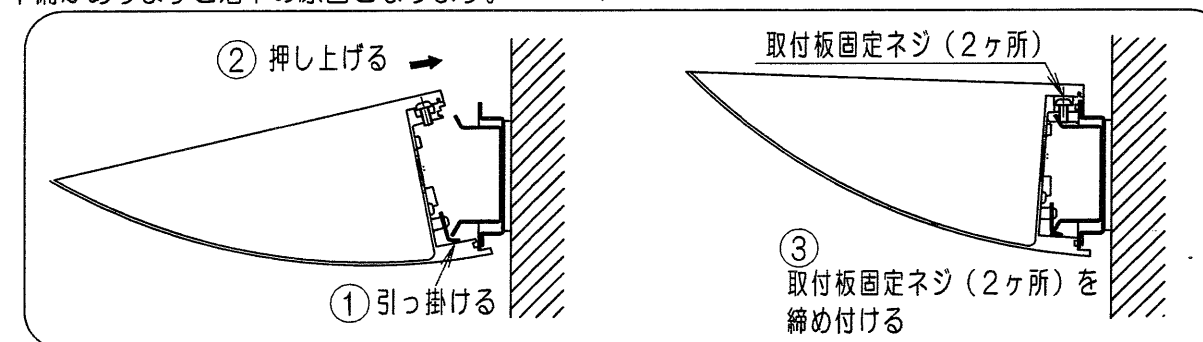


適合電線VVF
φ1.6
φ2.0単線
12mm

- アース線を端子台に確実に接続しD種 (第3種) 接地工事を行ってください。
不完全な場合、火災・感電の原因となります。
- 配電線貫通部を防水シールなどで埋めてください。
不完全な場合、浸水・火災・感電の原因となります。

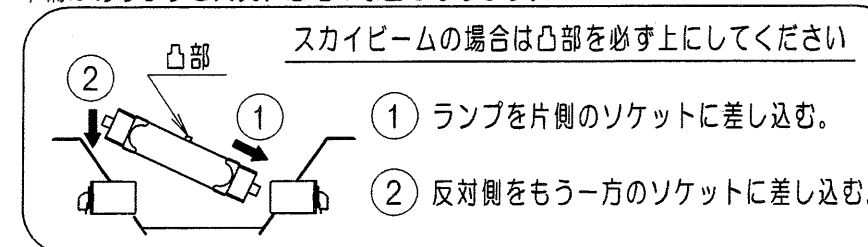
4 本体を確実に取り付ける

- 本体を取付板に引っ掛け、取付板固定ネジ (2ヶ所) で確実に固定する。
不備がありますと落下の原因となります。



5 ランプを取り付ける

- ランプ (別売) をソケットに確実に取り付ける。
不備がありますと火災・感電の原因となります。



6 枠を取り付ける

- 六角レンチ (別途) を使用して、枠固定ネジ (4ヶ所) を止まるまで締め付けて、枠を本体に確実に取り付ける。
注) 枠落下防止ワイヤーは、枠と本体との間にはさまらないように本体内部へ入れてください。
不備がありますと浸水・感電の原因となります。

取扱説明

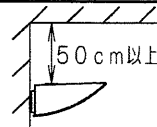
お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換をしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。火災・感電の原因となります。
- ランプ交換の際には、器具表示及び取扱説明書にしがい、指定されたランプを使用してください。
- 指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。
- 器具と被照射面は50 cm以上はなしてください。被照射物の火災・変色の原因となります。



注意

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
- ランプ不点の状態で放置しないでください。器具の故障の原因となります。

使用上のご注意

- 光の影響を受けやすい商品（毛皮・呉服・絵画等）には長時間使用しないでください。変退色の原因となります。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- 点灯中のランプを消してすぐに電源を入れてから、ランプが始動するまで約20分かかります。

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器については3年間です。
ランプなどの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換 **注意** 必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。

- 器具の清掃について……水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ランプ交換について……器具表示にしがい、下記の指定されたランプを使用してください。



1 枠を取り外す

- 六角レンチ（別途）を使用して枠固定ネジ（4ヶ所）を緩めて枠を取り外してください。

2 ランプを交換する

警告 指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

適合ランプ	
CDM-TDランプ	スカイビームダブルエンドランプ
CDM-TD70W/830	HQI-TS70W/NDL UVS
CDM-TD70W/942	HQI-TS70W/WDL UVS
MQD70E-W	MQD70E-LW

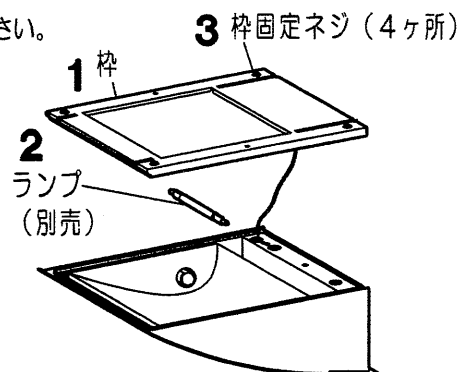
注意

- 点灯中や消灯直後はランプや周りにさわらないでください。
やけどの原因となります。

3 枠を取り付ける

- 六角レンチ（別途）を使用して、枠固定ネジ（4ヶ所）を止まるまで締め付けて、枠を本体に確実に取り付ける。
注）枠落下防止ワイヤーは、枠と本体との間にはさまらないように本体内部へ入れてください。

不備がありますと浸水・感電の原因となります。



2

- スカイビームランプの場合は凸部を必ず上にしてください
- ① ランプを片側のソケットに差し込む。
 - ② 反対側をもう一方のソケットに差し込む。

パナソニック株式会社 施設・店舗照明ビジネスユニット 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニックお客様ご相談センター 0120-878-365（フリーダイヤル） 0120-878-236（FAX）

M0404-040112